神社地区 まちづくり協議会だより

第8号
令和元年９月１日

『自助』『共助』

会長　神生　修

八年目に入った「神社地区まちづくり協議会」、発足当初の将来像として、

「安心して住める、人にやさしい、楽しく元気なまちつくり」

の三つのテーマを掲げ、それぞれに、委員会を設け、各種行事を推進してきました。

令和元年度の総会（会長挨拶）

しかしながら、各委員会では、内容を十分検討の上、事業を進めていますが、各自治会と当協議会で行っている催しものには、同様なものが、多々見受けられます。

このことに関しては、皆さんが、各自治会の垣根を乗り越え、学区レベルで普段顔を合わせられるようになれば、コミュニケーションの輪が広がり、改善できるものと思います。

誰もが、気軽に足を運び、楽しめるイベントを増やせば、コミュニティの場となります。これにより、互いに顔見知りとなり、助け合いの心が芽生え、更には、今後のいろんな活動に生かされていくのではないかと考えます。

三年前から、重点的に、次の課題に取り組んでいます。

・震災発生時の「避難誘導」の推進

「自助」自分（家族）の命を守る。「共助」隣近所や、体の不自由な方を、自主的な活動で支援できるよう、言葉だけでなく実際に行動するための、一段深く掘り下げた取り組みを進めます。

・健康増進活動の展開

高齢化の進行が抑えられない現在、自分の事は、自分で出来る生活を続けられるように、健康体操の実施や、簡単にできる運動競技などのイベントの充実を図ります

自治会から学区へのコミュニケーションの広がり目指し、「まちづくり協議会」は日々、邁進します。皆さん、「まちづくり協議会」が主催する催しものに、是非、参加して頂くことを、心からお願いします。

防災講演（三重大学川口准教授）

協議会の組織は

総会
（自治会、団体等から選出された代議員と公募代議員で構成）

役員会
（総会において互選する会長、副会長、会計、理事で構成）

事務局
（事務局長は役員会の承認を得て会長が任命する）

- 安心して住めるまちづくり委員会
- 人にやさしいまちづくり委員会
- 楽しく元気なまちづくり委員会

（委員会は代議員と参加を希望する住民で構成する）

令和元年度活動事業計画

2019.8.3

事業名	実施予定時期	事業概要
1.健康増進事業（健康体操）	6月8日と秋	講師指導による、足腰を鍛えながら楽しい健康体操
2.夏まつり	7月28日	5町の老若男女こぞっての夏まつりイベントで絆づくり
3.防災対策事業	通年	各町ごと、又は全体で震災を中心とした講演会や体験訓練を実施
4.トークと伝統事業	11月（予定）	地域に根差した行事と講演会
5.ウォーク事業	秋	3世代がウォークで絆づくり
6.研修事業	未定	まちづくり活動先進地視察研修
7.きれいなまちづくり ①花いっぱいのまち ②美化運動	3月（予定）	5町の美化を進める まちを花でかざる活動 地域の一斉美化活動
8.スポーツ振興会との共同事業	通年	町民運動会など各種スポーツによる絆づくり事業
9.広報	通年	ホームページ管理

まちづくり

まちづくり協議会がスタートして八年目となります。

防災訓練などの行事への参加者は、年々増えていますが、尚一層の拡大を図るために「まちづくりに参加しましょう」の啓発文を全戸配布して呼びかけました。

また、今年二月末に実施した「防災に関するアンケート」について、その結果を回覧などで報告しました。

令和元年度役員体制

2019.6.19

役職	氏名	選出団体等
会長	神生　修	竹ヶ鼻町自治会
副会長	中北　善明	スポーツ振興会（馬瀬町）
	西田　稔	小木町
会計	太地　哲成	公募者（下野町）
理事	濱村　秀男	神社港自治会
	中西　一郎	竹ヶ鼻町自治会
	南　誠一	馬瀬町町内会
	大西　光夫	小木町
	古川　善正	下野町自治区
	出口　勉	委員長（竹ケ鼻町）
	村上　純孝	委員長（神社港）
	西　高秋	委員長（馬瀬町）
監事	大西　優	神社港自治会
	浦野　卓久	公募者（馬瀬町）
事務局長	田中　敏伸	下野町

神社地区まちづくり協議会事務所

神社地区まちづくり協議会
〒516-0004　伊勢市神社港262-1
TEL：0596-65-7145　FAX：65-7146
Eメール：kamimachi@abelia.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.kamiyashiro.com/
事務所開所日時　原則　月・水・金曜日
午前９時から午後３時

平成30年度 事業活動

工場見学とふるさと散歩

五年前に開催し好評を得た「工場見学とふるさと散歩」を、晴れ渡った秋空のもと、約六十名が参加し、昨年十月二十七日に実施しました。

三水フーズさんでは、冷凍エビの袋詰め、検査、パック詰の過程を見学、若松屋さんでは、金串に刺したかまぼこ焼きを体験し試食しました。

その後、去年四月に建て直された清雲院の本堂で、「おなつ像」「徳川家康像」を拝観、また、海岸通りの清水次郎長ゆかりの石灯籠などを見て、元気に小学校に戻りました。

工場見学の風景

防災訓練（避難所ミニ体験）

昨年実施した五町一斉避難訓練に続き、今回は、避難訓練と避難所の環境とはどんなものかを、ミニ体験しました。

二月十七日、午前九時、小学校への避難に続き、避難所での受付体験や、避難所スペース、簡易トイレや、担架搬送体験などを行い、炊き出しも振舞われました。

最後に、三重大学の川口准教授より、繰返しの訓練が、被災時に身を守ることになると講評がありました。

簡易ダンボールベッドの体験

花いっぱい活動

今回で四年目を迎える「花いっぱいのまちづくり活動」も定着し、年々、参加者が増えています。

今年は、春から秋にかけ長い間楽しめる「ガザニア」を選定しました。三月二十三日、5町の公民館前で、応募された約三百世帯の方々に渡されました。

玄関、庭先に色とりどりの花を飾って人にやさしい、綺麗な町を目指しましょう。

花いっぱい活動

令和元年度 事業活動

ハッピースマイルヨガ体操

ハッピースマイルヨガ体操

講師指導による「ハッピースマイルヨガ体操」を、6月8日小学校体育館で行いました。

高齢者の参加もあり、休憩をはさんでの約1時間の体操でした。リズムに合わせた全身運動、体を動かす脳トレ体操、笑いの呼吸とストレッチ体操など、大人も子供も快い汗をかきながら、楽しんだ半日でした。

小学校で防災学習

神社小学校で五年生キャンプが七月十九日に行われました。この機会を利用し、子供たちを対象に体験型防災学習を開催しました。

空気で膨らむ担架でのけが人搬送、段ボールベッド組立、汚物の代りに水を凝固剤で固める実習等、子供たちは、時にははしゃいだりして、楽しそうに体験していました。

最後に、カレーをかけた非常食を試食して、約2時間の体験学習を終了しました。

担架での搬送体験

五町合同 夏まつり

今年も台風のため、開催が危ぶまれましたが、翌七月二十八日は天候が回復し、3回目となる「夏まつり」を挙行することができました。

午後4時に縁日屋台が開店したあと、午後5時に「夏まつり」が始まりました。地元子供たちによる和太鼓や、女性グループによる演奏や舞が、元気と華やかさを添え、まつりを盛り上げました。

射的、かき氷、焼きそばなどの屋台も大盛況で、人出は例年以上となりました。まつりのメインは「盆おどり」です。「ビューティフルサンデー」「ダンシングヒーロー」など、全5曲を楽しみました。

盆おどり風景

女性達の演奏と演舞

子供達の和太鼓演奏

縁日屋台の様子

縁日屋台の行列

令和元年度　協議会代議員のみなさん（順不同）

団体名等	代議員名
自治会 町内会	【神社港】　濱村秀男、大西優、福田茂、長野憲照、加藤和広 【竹ヶ鼻町】　神生修、出口勉、中西一郎、高木勲、小西正宏 【小木町】　大西光夫、下倉明、西田稔、三島伸介、大川晃 【馬瀬町】　南誠一、中北完治、福川一生、中北喜久生、中北邦夫 【下野町】　古川善正、古川久晴、竹内幸弘、鈴木清子、上村昇一
小中学校ＰＴＡ	【神社小学校】小林夏樹　【港中学校】中村元洋
小中学校長	【神社小学校】小嶋幸博　【港中学校】金森晃生
民生・児童委員	【神社港】村上純孝　【下野町】古川香春子
消防団	【神社港】沖林宏一
老人クラブ	【神社港】中村清　【竹ヶ鼻町】出口勝久　【小木町】栗田眞一 【馬瀬町】林卓生　【下野町】安田正幸
スポーツ振興会	【馬瀬町】中北善明
ＮＰＯボランティア団体	【神社みなとまち再生グループ】中西恒壽
公募者	（神社港）北川美帆、（馬瀬町）浦野卓久、西高秋、堀佐登司、平賀竹子、宮本伸子、（下野町）太地哲成、西井弘紀（社協）中村将純